



「佐々木さんを支援する会」会報

ウブムエ

事務局 〒235-0041横浜市磯子区栗木1-22-3 / TEL 045-774-9861洋光台
バプテスト教会内(蛭川明男牧師) / 世話人代表 金子 敬
事務局長 吉高 叶(栗ヶ沢バプテスト教会TEL 047-341-9459)

ニャルワンダ語で「ウブムエ」(ubumwe)とは、「一致」「調和」「和」を意味する。

巻頭言

村上千代

むらかみ ちよ

世話人会メンバー

日本バプテスト女性連合幹事

見えないものに希望をおいて

残暑お見舞い申し上げます。

立秋を過ぎててもなお暑い日々が続いていますが、お元気でお過ごしでしょうか。皆さまのお祈りとご支援を心より感謝申し上げます。

さて8月も後半に入り、佐々木さんのルワンダ派遣まであと1ヵ月余りとなりました。

暴力の連鎖が断ち切れず、憎しみが憎しみを生み出す世界の現実の中で、私たちはこれから始まる「ルワンダでの和解の働き」に期待しながら、派遣の時を待っています。この先のことは、派遣されるご本人にとっても、また支援する私たちにとっても未知の世界であり、どのような現実が待ち受けているか分かりません。しかし、神さまの約束に信頼し、見えないものに希望をおいていくときに、神さまは必ずみ業をあらわしてくださると確信しています。神さまが、これからどんなみ業を私たちに見せてくださるのか、ルワンダからの報告がたのしみです。

佐々木さんは、ブラッドフォード大学

平和学部博士課程での学びをまもなく修了し、9月30日にイギリスから直接現地に赴かれます。ご家族はすでに帰国され、しばらく日本に滞在して11月にルワンダに向けて出発なさる予定です。

ご家族は、お連れ合いの恵さんと、3人のお子さまたち(萌さん・中2、仁さん・小6、共喜さん・小2)。以前、佐々木さんがエチオピアで農村自立支援活動をされていたときに現地をお訪ねした時には小さかったお子さまたちもすっかり成長されました。ルワンダにあって、ご家族が安心して生活できるように、お子さまたちが十分に教育を受けられるように、そして佐々木さんがしっかりと活動できるように、私たち「支援する会」は祈りを熱くしていきたいと思います。引き続き皆さまのご支援をお願いすると共に、この支援の輪を1人でも多くの人に広げられるよう、ご協力を賜りたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。



佐々木和之

ささきかずゆき

ルワンダ到着後の予定

被害者の回復、そして加害者の更正、その両方にとって意味深い「償いのプログラム」を見だし、取り組んでみたいと祈っています。

日本はとんでもない猛暑のようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。冷涼なイングランド北部で暮らしていると、暑い夏が懐かしくなることがあります。しかし、うだるような暑さに喘いでいる皆様にとっては、羨ましい限りの気候なのかもしれません。実は、私の家族は昨日日本に帰国しました。電話で妻の恵から聞いたところによると、子ども達はあまりの暑さにフーフー言っているとのことでした。

私のルワンダへの出発日も決定しました。9月30日の午後にリーズ空港を出発し、翌10月1日の朝8時過ぎにはルワンダの首都キガリに到着します。出発まで余すところ約1ヵ月半。論文執筆の追い込み、引越し準備等がぜん忙しくなってきました。

●支援の輪の拡がり

ご存知の様に、私は5月中旬から6月下旬まで、日本各地を訪ね支援のアピールをして参りました。日本にとって馴染みの薄いルワンダで、しかも「平和と和解」という成果が見えにくい活動に、どれだけの方々がご賛同下さるだろうかと最初は少し不安でした。しかし、多くの方々が、「憎しみを乗り越えて共に生きていかなければならない」という、ルワンダの人々が直面している深刻な課題を心で受けとめ、ご自身が抱えておられる様々な問題と結びつけて捉えて下さったように思います。日本の私達とアジア諸国の人々の罪責と和解の問題をはじめ、

学校、職場、家庭等、身近なところでの人間関係の問題まで、私達も深いところではルワンダの人達と共通の課題を持っているのだとの認識を新たにしました次第です。

つい先日、支援者数500名の目標にほぼ到達することが出来ました。学校や教会をあげてご支援下さっているところもありますので、個人数にすると500名をはるかに超える方々が支援の輪に加わって下さったことになります。また、本当に多様な方々が支援者になって下さっていることを嬉しく思っています。居住地で言うと北海道から沖縄まで、全国30都道府県。年齢では小学生からかなりご高齢の方々までいらっしゃいます。ルワンダという国名を初めて聞いたと言われる方がおられるかと思えば、ルワンダやアフリカの専門家もおられます。また、多くの方々がキリスト教に関係しておられますが、キリスト教以外の宗教を信仰されている方々や、特定の宗教をお持ちでない方々からも支援金や励ましの言葉を頂いています。

●ルワンダ到着後の予定

10月1日のキガリ到着後、しばらくは住居探しとその整備、銀行口座の開設、子ども達の現地校への入学手続き等々、まずは私と家族の生活基盤を整えるために時間を使うことになります。イギリスからの船便荷物が到着し、生活環境が整うであろう11月下旬頃に家族を呼寄せることになるでしょう。また、生活環境

の整備と同時に労働許可の取得手続きを進めます。管轄の役所からは、申請後1ヵ月半位で取得出来ると言われていますが、実際には始めてみないと分からないのがアフリカです。先日お会いした駐日ルワンダ大使も、全面的にサポートして下さるとのことですので、最終的には問題ないと思いますが、なるべくスムーズに取得出来るようにお祈り下さい。

これらのことが一段落してから、活動を立ち上げていく予定です。具体的にはまだこれからですが、1994年のジェノサイド（大虐殺）の時に殺戮や破壊行為に荷担した罪で有罪判決を受けた人々が参加する「償いのプロジェクト」を、地元の教会等と協力して始めていくことが出来ないだろうかと思っています。

1994年のジェノサイドに荷担した人々（指導者を除く）を裁くために、「ガチャチャ」と呼ばれる民衆裁判が全国各地で始まりつつあります。この民衆裁判に関する法律によれば、ジェノサイドの加害者であっても罪を自白し謝罪した人々は、刑期の半分を地域奉仕に振替えることができます。ジェノサイドの容疑で過去10年以上刑務所に拘留されてきた人々の大半が既に自白していますが、ガチャチャ裁判の判決が下りさえすれば、この人達のほとんどが地元の村に戻り、何らかの地域奉仕をしながら残りの刑期を務めることになるのです。（ジェノサイドに荷担したことを自白をした囚人達のうち、既に2万人以上が仮釈放されていますが、政府は先月末、更に3万人の仮釈放を開始すると発表しました。）しかし、具体的な地域奉仕の受け皿については、まだ確定していないのが現状です。そこで、地元のNGOや教会等と協力して、虐殺生存者や地元のコミュニティーのニーズ、そして受刑者達の意志を尊重した、きめの細かいプロジェクトを立ち上げ、地域奉仕の受け皿にしていけないだろうか、というのが私の考えです。そうすれば、被害者の回復にとって有意義

であるとともに、受刑者の更生という観点からも意味のある償いのプロセスになり得るのではないかと考えているのです。

●終わりに

ロンドンで起きた7月7日の爆破テロ以降、イギリス社会は重苦しい雰囲気になっています。イラクへの軍事介入がテロを招いたのだという批判に対し、ブレア政権は、両者の関連性を一貫して否定し、この違法な戦争の正当性を主張し続けています。私は、テロを容認したり擁護するつもりは全くありません。しかし、自らの過ちを省みることなく、敵対する者はすべて力で捻じ伏せていこうという潮流には断固として反対し、武力によらない平和構築の実例を積み上げていかなければならないと思っています。

これまでのご支援を心より感謝申し上げます。次回はルワンダからの報告になります。あせらず、息の長い活動を目指していきますので、どうか継続的なお祈りとご支援をよろしくお願い致します。



7月 イギリスのバーミンガムで開催された世界バプテスト大会で。

日本からの参加者たちと、佐々木和之さんご一家

支援の輪の広がりに感謝

5月 - 6月「アピールロード」を終えて

佐々木和之さんは、去る5月13日に一時帰国され、ルワンダでの働きへの支援を呼びかけるために全国各地をまわられました。6月23日にイギリスに帰られるまでの40日間、フル回転でアピール活動に従事されました。私たち世話人会事務局は、その日程のコーディネートにあたりましたが、「佐々木さんの身が持つのか？」と不安でいっぱいでした。けれども、持ち前のタフさと情熱とで、見事にこのハードスケジュールの乗り越え、尚、余力をあらわされながらイギリス便に乗って帰られました。

40日間の歩みを下記に記します。今回、佐々木和之さんの訪問の願いを受け止め、「出会いの場」を設けてくださいました皆さま方に心からの感謝を申し上げます。また、この「アピールロード」活動を通して、たくさんの方々から支援のお申し出をいただくことができましたことに御礼申し上げます。

／事務局長 吉高 叶

5月

- 13日 帰国
- 14日 神奈川地方連合小羊会（川崎教会）
- 15日 洋光台バプテスト教会
- 16日 西南学院大神学部ミッションデー
- 17日 西南学院神学部講義
- 18日 西南学院法学部講義、西南学院大チャペル、
平尾バプテスト教会
- 20日 伊集院バプテスト教会
- 21日 バプテスト国分教会
- 22日 バプテスト鹿児島教会、枕崎伝道所 / 23日 バプテスト川内教会、彰栄学園チャペル
- 24日 連盟理事会出席 / 25日 川崎バプテスト教会、相模中央教会
- 26日 横浜JOY教会 / 27日 明治学院大チャペル、〃経済学部講義
- 28日 東京西ブロック女性会（三鷹教会） / 29日 広島地区の集会（広島バプテスト教会）
- 30日 中部連合女性会（名古屋教会）



6月

- 1日 教団清水ヶ丘教会、百合丘キリスト教会 / 2日 天城山荘女性役員会出席
- 3日 関東学院大チャペル / 5日 金沢バプテスト教会 / 6日 北陸学院中・高・短大
- 9日 関東学院大人間環境学部講義、関東学院大チャペル、〃工学部講義
- 10日 彰栄学園チャペル（保育）、関東学院大文学部講義・ゼミ
- 11日 立教女学院中学講演、カレブの会公開セミナー（お茶の水クリスチャンセンター）
- 12日 バプテスト同盟霞ヶ丘教会
- 14日 『恵みの雨』取材（栗ヶ沢教会）、東京東女性会（花野井教会）
- 15日 - 17日 西南学院高校チャペル
- 18日 東京北女性会（赤塚教会）、目白ヶ丘チャリティーコンサート
- 19日 浦和バプテスト教会
- 20日 関東学院中チャペル、関東学院野庭幼稚園講演、〃キリスト教と文化研究所講演
- 21日 関東学院高チャペル、関東学院三春台小講演、関東学院大学チャペル
- 23日 成田より帰国の便に

ご入会・ご支援 ありがとうございます

支援の広がり感謝し、発会後にご支援くださった
全ての方々のお名前を掲載させていただきます。

相川好美、相浦光教会女性会、相原美穂子、青野太潮、秋山忠正、秋山信夫、秋山陽子、彰栄保育福祉専門学校、浅野陽子、阿世知隆、穴澤克朗・美穂、阿部義孝、天野五郎・天野文子、荒井亜紀、安藤 正、安藤栄二・せい子、安東努・聡美、安藤徳子、李 仁夏、飯田基子、飯野美代子、池田俊一郎・久美、石橋裕子、石橋由美子、伊集院キリスト教会、石渡修司・路子、石渡伴子、磯貝瑤子、板井玲子、板橋 成、市川幸郎・直子、市瀬登美、伊藤佳代、伊藤清美・真宣・美与子・優、伊藤信夫・園子、伊藤美樹、伊藤康弘・紀恵子、稲生紀子、今給黎芳子、植田葉子、白井愛子、梅木芳昭、梅沢栄・雪子、梅野恵美子、浦野正子、江ヶ崎清臣・晴子、江口稔子、榎本 讓、榎本佐智子、榎本みつ枝、江原 淳、江原都代子、胡子節子、圓林栄喜・さゆり、大石咲枝、大内勝美、大草恵子、大蔵真由子、大崎典子・斎藤節子、大迫裕男・慈子、大谷貞夫・偕子、大成芳美、大野優子、大堀千鶴子、大矢公子、大家美和子、岡田鏡子、岡田昌子、岡田有右・富美子、岡田百合子、岡村千鶴子、岡本綾子、小川智瑞恵、小川宏嗣・千絵美、小川美奈子、荻原美世子、奥田智子、尾崎牧子、小田桐智子、越智 満、踊 一郎、小野鈴子、小野原直子、小淵康而、小山清孝・節子・佳枝、柿園光恵、梶井洋子・義郎、鍛治田みどり、梶田洋子、霞ヶ丘教会、霞ヶ丘女性会、片山寛、片山佳代子、勝政カツ、勝亦昭太、嘉手納つね子、加藤仁朗、加藤誠・泉、加藤雄三、金井君江、金井利樹、金谷美津江、金子 敬・知子、金香萬壽子、金子恵子、金子佐枝子、金子聡子（代表）、金子純雄、金田聡子、甲斐秀昭・甲斐悦江、上前洋子、神谷武宏、神山 武、川崎 実、川崎国男、川崎多恵子、川崎バプテスト教会女性会、川崎光子、川城千鶴子、川村邦彦、川村末子、神田英輔、関東学院野庭幼稚園、関東学院大学キリスト教と文化研究所、関東学院大学宗教教育センター、関東学院大学チャプレン会、関東学院中学・高校香柏会、関東学院中学・高等学校、関東学院三春台小学校、菊池金子、菊池崇志、菊地るみ子、岸 照子、北九州連合ピースコンサート、北 芳正、北島靖士・峯子、北田良雄、北原志津江、北道佳代子、衣笠詩子、木部暢子、木村公一、清岡道子、桐本恒雄、草野昌子、くずめよし、倉崎紀子、栗山美和子、桑島澄子、桑原邦男・千代子、前田・原・藤木・平田（敬愛幼稚園）、見城敬子、古賀公一、国分キリスト教会、小平駿介、小林和子、小林とみ子、小林洋一、小原清伍、小張優子、牛坊千寿枝、駒崎 学、小松澤一枝、小松澤 浩、小峯幸子、是枝和子、近藤文子、財津たか子、斎藤和子、斎藤幸江、斎藤信一郎・祥子、齋藤颯人、齋藤洋子、三枝智子、堺キリスト教会、坂岡英子、榊原恵子、坂田 創、坂部千鶴子、酒巻宏明・和美・アシュリー・ロバート・ミッシェル、酒巻正守・恵子、相良博志・けい子、左京貴子、作田松夫、佐久間好秋・栄子、酒向登志郎、佐々木敏郎・百合子、佐々木知子、佐々木宣子、佐々木光子、笹田朋子、佐多洋明、佐藤幸子、佐藤静江、佐藤順子、佐藤信人・幸子、鮫島奈穂子、塩山要子、茂木照夫、地頭園みち子、柴田将輝・咲良、島本暉子、清水聖子、清水日出子、下川迪子、下村昭子、城倉由布子、城野正興、白石治子、白井捷子、白井由季子、志良堂杏子、志良堂雅之、城前和徳・光子、菅野ミエ子、杉浦順子、杉本明子、杉山修一、勝呂祐康、辻子 実、鈴木恵美子、鈴木和子、鈴木冴子、鈴木三喜雄・聡子、鈴木重義、鈴木知子、鈴木俊子、須藤伊知郎、須磨琢也、須山弘子、清珠京 代表：田崎勝人、西南学院大学法学部、関田寛雄、瀬戸口一彦、仙敷妙子、川内キリスト教会、千田将馬・可奈、左右田理・淑子、左右田貞子、副島 勲、曾我和子、曾我美奈子、平良憲誠・民枝、平良仁志、高木伸江、高島赫子、高田紀行、高橋 麗、高橋秀二郎、高橋良子、高向嘉昭、高柳美枝子、高良研一、田口昭典、竹内勝敏・緑、武内進一、武野敏男・良

江、武林真智子、竹山征子、田代京子、田代保嗣、立川バプテスト教会女性会、田中和子、田中経彦・道子、田中瑞穂・由美子、棚橋信之、田辺貴美子、谷 邦彦、谷 洋、谷本慶哲・はるみ、田淵 亮、多保田治江、田宮キヨ、田村水比呂、丹 文子、中條智子・讓治、調子寛恒、塚原好子、辻 真理子、筒井恵子、堤 小百合、常廣澄子、鶴野博子、鉄井三千夫、寺園喜基、東京連合西地区女性会(井浦様)、徳永紗希、戸田敦子、都所康子、富田愛世、外山貴子、豊永雅枝、鳥越明子・波奈、鳥越七郎、鳥越妙子、鳥山美恵、永井かよ子、長尾澄子、中島和子、中島美香、中嶋名津子、永瀬正臣・井置利男、中拂志津乃、中拂秀一、中原伸一郎、長峯正一、中村悦子、中村安夫・のり子、長山忠雄・晃子、中山久光子、成田ファミリー、西岡靖子、西川由希子、西沢好枝、西本玲子、西山しまお、日本バプテスト浦和キリスト教会、日本バプテスト四日市教会、布山修・淑子、根岸靖明、野口哲哉、野間涼子、計屋紘信、萩原永子、萩原悦子、萩原和子、萩原小百合、萩原史子、羽仁麻梨子・良江、長谷川まゆみ、吐田敏宏、畑中幸子、服部アヤ子、花岡順子、羽矢和子、浜口紹子、濱野富美子、濱野道雄、早川恭子、早川耐子、早田美紀子、原 昌子、原 一子、原ゆみ子、原健太郎・瑞江、原田克己、原田今日子、播磨 聡、播磨信子、坂東資朗、比嘉勇雄、東原順子、東八幡キリスト教会、比嘉貴子、樋口きょう、肥後留里子、平石京子、平塚敬一、平野利子、平野信子、蛭川 望、蛭川愛実、蛭川明男・潤子、広島キリスト教会少年少女会、広瀬敏彦・久子、深作京子、福井すみ代、福岡西部教会、福島聖二、福田喜代子、福田みむろ、福田雄二・福田朝子、福永知子、福永保昭、藤崎正・明美、藤城真美、ふじみキリスト教会、二村尚美、舟木洋子、船本実幸、舟木信太郎、古川 新、古川博子、古木徳子、細井留美、保戸塚 仁、堀 達男、堀 政子、堀山敬太郎・裕子、益 巖、前田千恵、牧 甫、牧 ゆり、枕崎バプテスト伝道所、松井 清、松隈 潤、松下七郎、松見 俊、松村豪一・寿子、松村誠一、松村輝隆、松村 弘・ヤス子、松村祐二郎、松本静枝、松本昌子、松本素代美、的埜陽子、丸山節子、馬渡健太郎、三井純人、三浦良平・高子、三沢和子、南出浩二・薫、箕輪治子、三原正司、三原ミヨ、宮井武憲、都 道子、宮崎伸子、宮下ゆかり、宮治はるか、宮原美智子、向井直子、麦野 賦、武藤朝恵、村上千代、村上康子、村勢欽也、村瀬幸子、村勢美智子、村松久太郎・直美、目白ヶ丘教会・ルワンダ会、本井博也・智美、森下恵仁・牧子、矢島清子、矢島邦典、矢島宏樹、八十島章子、八十島光子、矢田部康夫、矢野 満、矢野由美、藪内こずえ、矢部楠緒子、山岡恵理香、山川明美、山岸悦子、山口凧子、山口正雄、山口要子、山崎元明、山下 保・一恵、山下誠也、山田とし子、山田雅之・みどり、山時松江、山元滋人、山本俊正、山本智子、山本長邦・律子、山本泰雄、湯川孝子、湯田朋子、湯本明子、百合丘キリスト教会、洋光台教会小鳩会、横尾喬子、横浜JOYキリスト教会(菊池康子)、横浜信三郎・純子、横浜戸塚バプテスト教会、横山保子、吉高 叶・路、吉武和彦・恵子、吉田晴彦・美奈子、吉野輝雄、吉原克弥・美玲子、吉松 徹、米田景子・塚原たづ子、李 龍光、立教女学院、立教女学院 藤の会、立教女学院中学校、リディア・ハンキンス、龍 尚希、和気絢子、和佐野健吾、和田京子、渡辺 亶、渡辺エリ子、渡辺くに子、渡邊邦子、渡辺祐子、綿引愛子

(敬称略 05年8月1日現在 495者、520口)

目標は600口(600万円)です。知人・ご友人に呼びかけてくだされば幸いです。グループで1口などでも結構です。また郵便自動引き落としもご利用いただけます。詳しくは、事務局までご連絡ください。

郵便振替口座 00250-0-112907 佐々木さんを支援する会

世話人会 金子 敬(目白ヶ丘教会牧師)、蛭川明男(洋光台教会牧師)、
村上千代(日本バプテスト女性連合幹事)、吉高 叶(栗ヶ沢教会牧師)